

潟上市議会だより

みんなのギカイ

～かたがみのミライをつくる広報誌～



地域を支える
元気と笑顔



新年のご挨拶



特集

みんなのギカイ
市民との
意見交換会



CONTENTS

- 2 新年のご挨拶
- 3 12月定例会・臨時会
- 4-5 委員会報告
- 6-10 一般質問
- 10 予算特別委員会
- 11-13 市民との意見交換会
- 13 行政視察研修報告
- 14 賛否一覧・編集後記



No.59

2019年12月定例会
【令和2年1月1日発行】

新年のご挨拶

潟上市議会議長

西村 武



新年明けましておめでとうございます。市民の皆様には本年も最良の一年となりますよう、衷心よりご祈念申し上げます。平素は議会に対しましても温かいご支援やご協力を賜り、感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、平成から令和へと新時代を迎え、国民一人一人が夢と希望を新たにしたい一年でもあったかと思えます。一方で、地球温暖化等の影響により台風の接近・通過に伴い、広い範囲で記録的な大雨や河川の氾濫、土砂災害が相次ぎ、日本列島に甚大な被害をもたらしました。この災害により犠牲になられた方々のご冥福と、被災されました方々の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り致します。

明るい話題として、昨年はラグビーワールドカップが日本で初めて開催されました。日本チームは「ONE TEAM(ワンチーム)」をスローガンに掲げ、強豪を次々と撃破し初めて決勝トーナメント進出を果たしたことは、国民に大きな勇気と感動を与えてくれた年でもあったと思えます。今年には東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、秋田県内では六月九日から二日間、わたり十四市町村で聖火リレーが行われ、二日目の六月十日のルートに潟上市が選出されております。

さて、近年本格的な人口減少で地方やそれぞれの地域を取り巻く環境も一層厳しくなるものと思えます。年々増加する高齢者世帯・一人暮らし高齢者世帯への対応や、全国的にも問題となっている空き家対策等、本市も例外ではなく、これらに対し民生安定と福祉向上のため一人一人の力を結集し、その役割を果たしていくことが、藤原市長が目指す「チームかたがみ」の力だと思えます。住みたい街日本一を目指し、私共議会も市民の皆様と共に力を合わせ、安全で安心な地域社会構築のために頑張っております。新年のご挨拶と致します。

あけまして
おめでとう
ございます

- 議長 西村 武
- 副議長 児玉 春雄
- 議員 鈴木 壮二
- 議員 戸田 俊樹
- 議員 菅原 理恵子
- 議員 菅生 望
- 議員 瓜生 斌次郎
- 議員 鈴木 敏雄
- 議員 佐藤 仁志
- 議員 中川 光博
- 議員 澤井 昭二郎
- 議員 佐藤 義久
- 議員 伊藤 正吉
- 議員 藤原 典男
- 議員 堀井 克見
- 議員 菅原 秀雄
- 議員 小菅 悟
- 議員 大谷 貞廣

(議席順)
事務局職員一同

2019年(令和元年)

12月定例会

12月3日～17日

12月定例会は、12月3日から17日までの15日間にわたり開催されました。

一般質問者7名、審議した議案は、条例案15件、単行案2件、一般会計補正予算、特別会計、水道事業会計、下水道事業会計補正予算7件を原案どおり可決しました。

条例案

全案可決

- ・市附属機関設置条例
- ・非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ・会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ・地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- ・議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例
- ・特別職の職員で常勤のものものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例
- ・一般職の職員の給与に関する条例及び潟上市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ・成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- ・手数料条例の一部を改正する条例
- ・災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例
- ・障害者居宅支援金条例の一部を改正する条例
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例
- ・天王ふれあい交流センター設置条例の一部を改正する条例
- ・農業委員会の委員の定数条例の一部を改正する条例

単行案

可決

- ・新市建設計画の変更
- ・秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更

補正予算

全案可決

- ・一般会計補正予算(第7号)
- ・国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
- ・後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
- ・介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
- ・水道事業会計補正予算(第3号)
- ・下水道事業会計補正予算(第2号)
- ・水道事業会計補正予算(第4号)

陳情

採択

- ・医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書の提出について
- ・介護従事者の全国を適用地域とした特定最賃の新設に関する意見書の提出について
- ・ケアプラン有料化などの制度見直しの中止、介護従事者の大幅な処遇改善、介護保険の抜本的改善を求める陳情
- ・若い人も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める陳情
- ・お金の心配なく、国の責任で、安心してくらせる社会の実現のため社会保障制度の拡充を求める陳情
- ・「深刻な医師不足、高齢化の進行、公共交通機関の衰退など地方における公立・公的病院のおかれている医療事情の状況把握を欠いたまま、国

●12月定例会に計上された補正予算の主なもの (単位:千円)

項目	補正額
給与改定対応	13,531
財政調整基金積立金	361,615
障害児通所給付費	11,884
小学校施設・設備改修工事	4,465
天王相撲場解体工事	6,710

●補正後の各会計の予算額 (単位:千円)

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	399,565	15,915,110
国民健康保険事業特別会計	26,857	3,699,030
後期高齢者医療特別会計	621	306,876
介護保険事業特別会計	730	4,126,409
水道事業会計(収益的支出) 第3号	354	597,716
水道事業会計(資本的支出) 第4号	48,382	736,156
下水道事業会計(収益的収入)	5,123	1,115,260
下水道事業会計(収益的支出)	△3,241	1,106,896

令和元年度 各会計補正予算

第4回臨時議会

11月15日開催

第4回臨時議会は11月15日に開催され、条例案件と一般会計補正予算を可決しました。

議案の内容

- 観賞温室及び花の広場設置条例
- 一般会計補正予算(第6号)

全会一致可決

補正予算の総額は1,576万5千円の追加で、ブルーメッセあきた内にある観賞温室と花の広場の管理運営に係る経費です。

増える児童数に対する対応は？

一般会計補正予算第7号



追分小学校

- ◎ 追分小学校施設、設備の改修工事の内容は。
 - ◎ 児童数の増加により通常学級が1つ、特別支援学級が1つの合わせて2学級が増えるものへの対応です。1部屋は教室内にある間仕切りの撤去をして通常の広さにします。そして2室とも児童用のロッカー等もなため設置します。
 - ◎ 今後の追分小の児童数をどのよう予測しているか。またその対応は。
 - ◎ 4月1日現在の出生数から令和6年度には約440人になると予測しています。その対応については、現在多目的に利用している3教室分の広さを持つ部屋を分割し、3つの教室にして対応することを考えています。
- ◎ こども園の建設予定地の整備が進みます
 - ◎ 天王相撲場解体工事の積算根拠と、屋内稽古場にある備品は処分しないほしい。
 - ◎ 工事積算するにあたっては参考見積書を業者より徴取しています。屋内稽古場にある備品等については、相撲連盟と確認をとりながら収納場所も含め協議します。

総務文教

ペットボトル用ごみ袋が有料化になります

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正



ペットボトル用ごみ袋

- ◎ 厳しい財政状況下にあるため、これまで無料だったペットボトル用ごみ袋が令和2年6月1日より有料となります。(10枚150円)
- ◎ 令和2年6月1日からの実施の理由は。
 - ◎ ごみ袋の作成に2ヶ月程度要し、そして店頭に並ぶまで一定の期間もかかること、併せて市民への周知を確実にするため6月1日からの実施を考えています。3月に入ってから市内12カ所での説明会も予定しています。
- ◎ マイナンバーカードの普及が進みます
 - ◎ 一般会計補正予算(第7号)
 - ◎ 国がマイナンバーカードの普及を促進したい理由と背景は
 - ◎ 国民健康保険や後期高齢者医療など各種保険証として活用できるように国では更なるマイナンバーカードの普及を促進しています。
 - ◎ 市では毎月500枚〜900枚程度増やす計画とのことだが、具体的にどのような方法で実施するのか。
 - ◎ 申請方法について広報12月号への掲載、スマートフォンでの周知もしています。企業等については出向いての出張申請も行います。今年度は要望があれば行い、来年度からは本格的に実施していきます。

社会厚生

委員会の動き

ふれあい交流センター設置条例の一部を改正する条例



ブルーメッセ県有地を譲渡

- ◎ 入場料大人1000円値上げによる経営の見直し、赤字解消はどうか。
 - ◎ 勤務シフトの見直しによる人件費削減、施設修繕費の削減や飲料物、食材等の適正な在庫管理での経費削減に向けた体制の見直しを行い、赤字解消は5〜6年後を目標に来客サービスの向上や適正な施設維持管理に努めます。
- ◎ 周辺市町村の温泉入浴施設の値上げ状況は。
 - ◎ 値上げ後の大人平均入浴料は490円です。
- ◎ 入湯税の変更は選択肢に無かったのか。
 - ◎ 地方税法第701条の規定により入湯税を課すこととなっていますが、入湯税を安くすれば、その分一般会計からの持ち出しが増えるため考えませんでした。
- ◎ 農業委員会の委員の定数条例の一部を改正する条例
 - ◎ 本市の基幹産業は農業だが市議定数に合わせて農業委員も減らして成り立つものではないと思うが。
 - ◎ 本市だけでなく他市も似たような状況だと思われまして、状況を整理しながら検討していきたいと思っています。

◎ 農業委員の業務は。

◎ 農地法に基づく申請の審議決定、申請地の現地確認、本市全域の農地パトロール、農家からの相談への対応等です。

◎ 一般会計補正予算(第7号)

◎ 道の駅しゅわわ等用地取得費の単価は。

- ◎ 県の譲渡額は不動産鑑定が基準となり、額は1,430万円、平方メートルの単価は1,980円で減額率は最大の75%です。

◎ 道路新設改良費で今回対象となる場所と計画は。

◎ 三軒屋の歩道設置場所から今回50メートルを延伸し、415メートルにするものです。用地取得費は12名分で2,205万9千円、物件補償費は見込みで10名分1億1,006万2千円で延長は細谷の十字路までの計画です。

◎ 下水道事業会計補正予算(第2号)

◎ 下水道使用料の賦課漏れの件数と徴収方法は。

◎ 賦課漏れは8件で、現年度分は58万8千円、過年度分は453万5千円です。このうち、3件分は全額納付済みで、残り5件分の現年度分は最長5年以内分割して納めることで同意いただいています。

◎ 間違いをおこさないための防止策は。

◎ 料金賦課担当者2人の確認、月末に料金担当者を確認するという5人で確認作業を行っています。今後人事異動があっても、問題なく対応できるように、マニュアル作成を検討します。

産業建設

風力発電に伴う人体への影響 および電波障害について



質問 人の健康および生活環境への影響は少なからずあると観点から、健康面と電波障害に関する問い合わせは。

答弁 健康面に関する問い合わせはこれまでありません。電波障害に関する問い合わせは、風力発電施設から距離のある湖岸地区を除く天王地区のほぼ全域となっております。

質問 テレビは最も身近な情報収集のメディアであることから、地域住民に納得のいく対応策を講じていかなければ輿論を生む結果を招くことになり得ると思っております。

答弁 当市の対応としては市民からの相談内容を丁寧に聞き取り、その

内容を事業者に伝えるとともに事業者に対し戸別に状況を調査し早急に対応するよう再三にわたり要請しています。また、住民向けに説明会を開催し、対応策を周知するなど現在お困りの方へ寄り添った対応をするように依頼しています。

質問 地球温暖化を抑制する観点から化



建設ラッシュとなっている風力発電の景観

加齢性難聴と補聴器 購入制度について



質問 加齢性難聴は認知症にもつながり、早いうちからの補聴器は認知症予防に有効といわれている。補聴器購入への補助の拡大は。

装具費支給制度により補聴器を購入しています。加齢性難聴者への補助の拡大は考えていませんが、県内市町村の動向等を注視してまいります。

水道事業について

質問 未給水地域での取り組みはどうなっているのか。

答弁 本郷・江川地域の住民の安心・安全な飲料水をどのように確保するかは、課題の一つと考えます。アンケートを去年8月に実施しましたが、配布件数は689件で回答された方は232件、うち水道への加入を希望された方は104件です。

公共交通の利便性について

質問 マイタウンバスを乗り継いで目的地に行く場合に、そのままの100円で乗り継ぎできないものか。

答弁 乗り継ぎの利便性ですが、平成29年6月に策定した湯上市地域公共交通網形成計画の中で、乗り継ぎ割引制度の導入を施策に掲げ、その実現に向けて現在、バス会社や運輸支局等と協議、検討を進めているところです。

平成26年度に実施したアンケート時の46.3%と似たような結果で、加入希望者が少ないことから事業実施は難しいと考えます。市では東湖小、江川児童館、曲町集会所で水質検査を実施しましたが、基準には合致していません。水質に不安を持っている方には、浄水器の設置に補助を出している自治体もあり、市としても検討していかなければならないと考えています。



マイタウンバス (好評の出戸・追分線)

乗り継ぎはマイタウンバスだけでなく、秋田中央交通の路線バスや豊川地区に導入しているデマンド型乗り合いタクシーとの乗り継ぎ等多岐にわたり、割引証明書を発行するバス運転手の負担が大きいたことが課題となっています。簡素で効果的な制度設計に向け、引き続き検討してまいります。



飯塚地区小玉家住宅の 市重要建造物文化財指定 について



質問 飯塚地区にある国指定重要建造物に指定された小玉醸造株式会社社長宅を始め、その周辺には小玉一家の住まいが連なり、その趣も大正から戦

前にかけて建てられた大きな家屋や、庭園、石垣、その中心には小玉醸造のみそ、醤油倉庫群、酒蔵、重厚な赤レンガの建物や塀がある。その存



小玉家住宅と倉庫

在そのものが地域の貴重な財産であり、観光資源になり得るものと思つ。市の重要建造物として指定できないか。

答弁 小玉家住宅の個々の住宅を文化財指定するには、所有者から申請があつて、市文化財保護審議会に諮問します。市としては北都銀行が中心となり設立した湯上市観光まちづくり協議会が取り組んでいる国指定重要文化財の小玉家住宅及び周辺住宅をリノベーションし、宿泊観光施設として農泊ビジネスによる地域活性化を目標に活動していますので、その取り組みの進捗状況を踏まえて支援していきます。

市職員の再任用制度について

質問 60歳で定年退職する職員等について無収入期間が発生しないように年金開始年令に達するまで雇用する再任用制度ですが、この制度の中身について、また特に元上司である再任用者について、現職員との関係での職員の不満、又地域住民の苦情等がある。これらについて当局の考え方は。

答弁 再任用職員は、今後一般事務員として任用するので、上下関係が逆転する場合もあるかもしれないが、意識を切り替えて、これまでの経験、知識を生かしてがんばってほしい。地域住民の感情については、公務員に対し厳しいものがあり、市の一職員として、一般職員と同様に市の未来や幸せのために、自身の役割をしっかりと務めること、市民から納得いただけるものと考えています。

クハラ対策委員会等を設置し、組織的に取り組むことにより迅速で適切な対策をすることとしています。

天王グリーンランドまつりの 芸能ショーについて

質問 若い世代にも考慮した出演者の選定、演歌とJ-POPなど隔年ごとに実施の考えは。

答弁 幅広い歌手を候補に実行委員会が協議します。出演可能な歌手のスケジューリングの問題が大きいと思いますが、検討してまいります。

質問 今後の展望として男鹿口ツクフェスタのような民間が中心となったイベントの考えは。

答弁 当市としては、もしそういう形でイベント等を行うとしたら行政としてどのような形でサポートできるのか検討してまいります。

市民の生活環境への 懸念が払拭されるように



市文化財保護審議会 に諮問



質問 飯田川保健福祉センターの風呂再開について

質問 高齢者がますます増加するのに伴い、一人暮らしや高齢者世帯も増える。それに伴い風呂の利用者増加も望める。飯田川地区唯一の公共の風呂の再開は地区住民の切なる願いであり、住民福祉向上のため、ぜひ再開を望む。

答弁 風呂の再開は、利用者が少ないこと、多額な改修費用がかかります。湯上市公共施設統合管理個別施設計画に示されたとおり、入浴事業については廃止の方向で明示され、この後理解を得ながら進めます。また施設は現在、若竹児童センターや飯田川児童クラブとして利用されています。

地域活性化への 関わりについて



大谷 貞廣 議員

【質問】 潟上市も合併15年、社会は少子高齢、人口減少、本県の人口動態の分析指標次世代再生力、親世代定着指数が総務省人口推計・5歳階級別データによれば潟上市は人口減少ペースが緩やかである。しかし人手不足が深刻、人材確保を特定技能や経済連携協定に基づく労働者を雇い入れ始めているが、外国人労働者の受け入れ状況は。

【答弁】 誘致企業であるフレッシュダイナー秋田工場にベトナムから9名の技能実習生受入。一般企業は、労働者の届出や報告の義務はなく、正確な把握には現在至っていません。

【質問】 日本語教育の体制は。

【答弁】 天王公民館事業として市内在住、勤務する外国人を対象に日本語の習得と秋田の生活習慣や生活上の悩みの相談等月2から3回実施し受講者約30名、講師2名とボランティアが対応しています。

【質問】 有償ボランティアの考えは。

【答弁】 事業予算として、一回5千円で40回分の予算、公民館の事業でするので一度きちんと精査して適正に対応して考えています。

働者の届出や報告の義務はなく、正確な把握には現在至っていません。

【質問】 日本語教育の体制は。

【答弁】 天王公民館事業として市内在住、勤務する外国人を対象に日本語の習得と秋田の生活習慣や生活上の悩みの相談等月2から3回実施し受講者約30名、講師2名とボランティアが対応しています。

【質問】 有償ボランティアの考えは。

【答弁】 事業予算として、一回5千円で40回分の予算、公民館の事業でするので一度きちんと精査して適正に対応して考えています。

応じます。

【質問】 全県、全国へ発信できるブランド製品とは何か。そのための体制は。

【答弁】 小玉醸造の酒・味噌・醤油類等・農林水産物関係で北限のふぐを推奨、和梨、菊類、ねぎ、枝豆など農産物も各関係機関と連携しながらPR活動、6次産業化に努めます。本市、秋田市、男鹿市の3市で設立した秋田中央地域地場産品活用促進協議会を発足、生産者、関係機関と一体となり更なるブランド化の実現へ向け努めます。

【質問】 稲わらバイオ設備のその後は。

【答弁】 現在は、バナジウム精製における技術検証のための設備改修が終了、平成31年2月から実証実験施設として稼働しています。

第2次潟上市都市計画 素案について

【質問】 住民説明会で出戸地区の整備方針が示されたが。

【答弁】 令和2年3月の策定を目指して計画の見直しを進めています。都市計画マスタープランは、将来的な将来像を描いたもの、それをもってまちづくりを生かしていきます。今その中に包含している個々の例に関しては、それ以外の個別の計画・予算等で協議させていただきまます。あくまでも将来像を描いているものという事で理解いただきたい。

更なるブランド化の 実現へ向け努める



総合的で手厚い 子育て支援を



菅原理恵子 議員

【質問】 多胎児支援の現状は。

【答弁】 妊娠中に双子とわかった場合、従来の妊娠健康診査補助券に多胎補助券、一回8,220円の6回分を発行。医療機関で得た情報を共有し、保健師が家庭訪問を行い早期

いと考えています。

【質問】 子育て世代包括支援センターについては、令和2年4月より開設予定だが、総合的で手厚い子育て支援を行うための事業内容は。

【答弁】 平成29年度に策定された子



子育て世代包括支援センター

の家族に必要とされるサービスや関係機関につながるなどの対応をしています。

【質問】 就職氷河期を含めたひきこもり支援対策は。

【答弁】 8050問題を含め、重要な課題であることから、国・県の動向を注視し、関係機関と連携を強化し、対応していかなければならないと考えています。

住民との 共同・防災力について

【質問】 避難所生活環境改善は。

【答弁】 避難所運営マニュアル災害時の避難所の手引きを策定。特に避難所生活の環境改善要素である間仕切りや更衣室・トイレ、居住スペース等については、避難所レイアウト例や留意点を明記しています。

きめ細かく支援して いく



【質問】 ひきこもり対策について

【質問】 本人や家族等が抱える悩みについて、相談窓口の現状は。

【答弁】 ひきこもりの家族からの相談の多くは、地域包括支援センター、社会福祉協議会、福祉施設等の関係機関、民生委員等からの相談、あるいは生活困窮相談などからひきこもりの方がいるといった情報で把握しています。相談に応じた窓口で、個々

市内道路の 整備について



佐藤 義久 議員

【質問】 大久保踏切付近が拡幅整備され便利になったが、折角の左折のレーンに標識・表示がなく周知されていない。誘導路・合流地点に標識・表示と踏切を渡る前(西側)にも看板を付けてはどうか。

道の幹線を優先に補修、国庫補助を活用し計画的に実施しています。補修路線延長も長くなかなか進まない状況です。毎年状況を確認し、予算の範囲内での発注にご理解をお願いします。

標識・表示の充実については、道路管理者と警察管理が分かれています。利用者の安全を考慮し連携しながら維持管理に努めます。

また、狭隘な道路の管理について市ではセットバック、隅切りなど私有地に対し指導等を行っています。

【質問】 市内の街路計画について、拡幅及び延伸接続の実施計画は速やかに

また、市道及びその他の道路の整備が十分になされていないと感じるが。

【答弁】 その道路は県道で県単独の事業です。市では、ご指摘の対策は講じることは出来ませんが、協議の機会を設けパイプ役で協力していきます。

道路整備で再舗装が必要なのは市

幅及び延伸接続の実施計画は速やかに

計画を確認され、変更すべきものは変更し計画決定されるべきと考えるが。

【答弁】 第2次総合計画の基本目標を基に策定したものの、旧町間の連絡機能を充実させ均衡ある発展を目指すための道路整備の基本的な方向性を定め、道路網の課題や交通需要に対応し幹線道路網の計画を示したものの、国庫補助事業を活用しており、本計画の13路線中完成済みは1路線、事業実施中と一部完成は2路線の計3路線です。計画策定から6年経過、策定から20年と長い期間であり、今後の社会情勢の変化等により、必要であれば見直しを検討します。

【質問】 合併以前から宅地開発された道路について、これらを早急に安全な道路に構築し、市が先導して地域の理解を得て市道認定できるものにするべきでは。

【答弁】 質問の道路は、都市計画区域の線引き以前の開発行為によるもの、



狭い道路(天王郵便局付近)

必要であれば 見直しを検討





仁志 議員

【質問】 近年は想定外の自然災害が激甚化している。当市の今後の対策を問う。県河川昭和馬踏川、飯田川豊川流域の豪雨氾濫予想地域箇所及び浸水想定区域は。

【答弁】 河川が氾濫した場合、浸水が想定される区域を洪水浸水想定区域と指定し、想定される水深を公表し、関係市町村に通知、データの提供がされます。現時点で18自治体が対象となっています。馬踏川、豊川は洪水予報河川及び、水位周知河川の位置づけでないため、データ提供の対象外です。今後も国、県の動向を注視し対応にあたります。

【質問】 最大の危険水量と自治体マップを作成し、住民のリスクを自覚してもらうことは。

【答弁】 危険水位については、潟上市のホームページを経由して、秋田県河川情報システムで観測データや各種情報が得られます。今後過去に浸水の影響があった場所などをまとめた箇所マップの作成について調査、検討を進めます。

【質問】 災害時の避難場所、避難勧告等細部の対策は。

【答弁】 災害時の避難場所については、災害種別によって公共施設等の指定を行います。避難勧告等の発令

【市営住宅の現状について】

【質問】 市営住宅の現状は。

【答弁】 入居者の管理範囲は建物および敷地も含め、垣根なども含まれます。入居者は共同施設について必要な注意を払い、これらを正常な状態で維持し明け渡す場合は原状回復をして、市職員が検査をしています。入居後、不備が発見されると、その都度修理し管理しています。家賃滞納は以前より解消されています。

【要望に対する当局の対応について】

【質問】 二年前から住民の要望を問いついては、職員が関係機関と連携し適切に対応します。まずは自らの住む地域に起こり得る災害を知り、最寄りの避難場所の把握、避難経路など地域における防災訓練実施による取り組みが大切であります。

県との連絡を密にして、イエス、ノーの答を速やかにしてほしい。

【答弁】 飯田川保健福祉センターの風呂は、潟上市公共施設等総合管理計画個別施設計画をお示ししたこともあり、今後計画に基づきながら進めてまいります。

【質問】 野球場の整備と砂煙の解消は。

【答弁】 野球場のスコアボードは、代替設備としてポータブルスコアボードで対応し、砂煙については、散水を行い飛散しないように対応しています。

【質問】 空き家を買収し駐車場の幅は。

【答弁】 駐車場の幅については、トレイクかたがみの駐車場、梅の里の駐車場を利用していただき、混雑解消に努めています。



全議員で予算特別委員会を設置し審査しました

【質問】 マイナンバーカード交付受付に必要なプリンターを購入しようだが、総務省からのマイナンバーカード推進の指導内容は。

【答弁】 令和5年3月末時点ではほとんどの国民がマイナンバーカードを持っており、そのような計画が示されました。今後交付申請、交付事務が増えることが想定されるので、特に交付申請に必要な事務機器ということでタブレット端末のリース料、プリンターの購入費、インターネット回線の使用料を予算計上しています。

【質問】 子育て支援とすることがありますので、そのようなデザインを採用しパソコンフレットやチラシで様々なPRに使用します。

【答弁】 財政調整基金の繰入金と歳出の積立金の関係は。

【答弁】 平成30年度実質収支の2分の1を積み立てます。これは地方財政法に定められており、その関係で積み立ての歳出を計上することになります。繰入金の財政調整をするという考えのもとに計上しています。

【質問】 ニングが必要ではないか。

【答弁】 用地取得等が発生する場合にはそれに伴う予算、それから相撲場の解体もあり、それらが発生することをお答えしながら進めてきたもので、当初から想定しながらの事業推進ですのでご理解をお願いします。

【質問】 社会福祉施設整備事業の内容は。

【答弁】 だと児童クラブ(仮称)整備事業の実施設設計委託の請負差額、その分を減額する予算となっています。

【質問】 国保連合会に返還する分については市で年度ごとに計算し、誤りに気付く要素はなかったのか。

【答弁】 算定については国保連合会が一括

して行っており、市町村には算定後の金額が示されているだけであり、算定のために使われる数値は示されておりませんでした。そのため市町村では気づくことができなかったことでもあります。

【質問】 返還する残りの分の来年度以降の支払いは明示されているのか。

【答弁】 高額医療費共同事業については県からきちんとした形で示されてはいますが、今年度中に清算ということで3月定例会に提案する予定です。国庫支出金は来年度の清算になる予定で、いずれも1年間で全額清算するという方針が示されています。

未来の子どもたちのためにみんなで考えよう。

みんなのギカイ 市民との意見交換会特集

意見交換会
11月15日(金)
潟上市役所 4階大会議室
参加人数：26名

※いただいたご意見の一部を次ページに掲載



市民の皆様



潟上市議会



市当局(市役所)

11月15日(金)午後6時、市役所大会議室にて議会と市民との意見交換会がフリートーク形式で行われました。悪天候のなか足を運んでいただきありがとうございました。

市民の皆様からいただいたご意見は我々が改善できる箇所はすぐ対応していきます。そして市当局の対応が必要なものに関しましては、まとめて市当局への提案をさせていただきます。

今後この声を大切にし、提言をしていきます。貴重なご意見ありがとうございました。





市政全般について



市民の声

町内会に加入していない人も多くいる。歯止めをかけるにはどうしたらいいのかわからない。

市当局の答

自治会への加入状況は、アパートなど一時的な住まいの方や特別な事情がある方を除くと、ほとんどの世帯が自治会に加入しており、比較的高い加入率となっております。

一部の自治会では加入率が悪いとの情報がありますので、加入率のよい自治会の事例を紹介しながら、加入率が悪い原因や解決策などについて、自治会長連絡協議会と連携し、協議・検討を行っております。市としては自治会の加入促進を図るため、自治会加入の必要性や自治会の活動内容など、より多くの方々が自治会活動に参加し、住みよい地域づくりができるよう周知活動などに努めてまいります。

市民の声

東湖町から神明町に抜ける道路で狭い十字路があるが、停止線や白線が消えていた。他にも消えている箇所があるので確認をしていただきたい。

市当局の答

ご要望を受け、担当がすぐに現場確認しました。ご指摘の箇所は停止線が薄くなっておりましたので、管理者である五城目警察署へ状況をお伝えし改善するよう申し入れました。

さらに、周辺道路を確認し、その他2箇所においても停止線が薄くなっておりましたので、併せて警察署へ連絡しております。道路標識や区画線、道路標示は、道路管理者と警察で管理が分かれており、その種類も多種多様ですが、今後も道路利用者から安全に通行できるように警察と連携しながら、維持管理に努めてまいります。

市当局の答

地区運動会を含め、社会体育事業の今後のあり方について担当課でも検討を進めており、現在は、12月3日に自治会長・分館長にアンケートを依頼するなど、市民の皆様のお考えもお聞きしながら継続や見直しについて検討を進めているところです。

市民の声

職員が顔をよく見えない。

前はすぐ職員の顔が見えていたのが伝わっていたが、今は住民から遠い存在に思える。市の職員は地域のことを良く知っていると思うので、地域のプロになっていたほしい。

市当局の答

市職員には、行政業務以外にも地域住民の一員としての自覚と行動が求められます。職員の中には、地域ボランティアや消防団員、自治会などががんばっている職員もおります。しかし、「住民から遠い存在」というご意見があるのは残念なところです。

しかし、市職員は、市民及び地域住民に寄り添い、頼られる存在であってほしいと思います。市職員には、市行事や地域のイベント、自治会活動等に積極的に参加するよう呼びかけていきます。

市当局の答

市では、各課で実施している事業や自治会へ協力をお願いしている事務を取りまとめ、事業の見直しや類似している組織の見直しを検討・改善しております。自治会長及び自治会への負担の軽減に向けて、自治会長連合会等と意見交換しながら今後も検討してまいります。

市政全般について(その他)



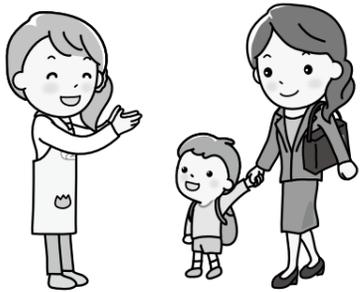
子育て支援

市民の声

市の多子世帯に対する支援について他の地域で発生しているような虐待などの事例が発生しないよう十分な政策を進めてほしい。

議会の答

現在市では、第三子目以降の出産祝い金や中学三年までの医療費補助などをおこなっています。そして来年度からは出産から小学校入学までをきちんと関わりを持っていく子育て世代包括支援センター(通称ネウボラ事業)をスタートします。今後も安心した子育てができるように提言していきます。



行政視察と広報の編集について

市民の声

視察してきたことに何を感じ、本市とどのような違いがあるのかを記事にしているのか。そして誰が書いているのか。

議会の答

10月23日~25日におこなわれた総務文教常任委員会の視察研修の報告書は市民の方から頂いたご意見を参考に編集しました。

※「市民の声」は議会ホームページにも掲載しています。

行政視察研修報告 総務文教常任委員会 (10月23日~25日)

10/23 広島県竹原市(人口26,426人)

研修テーマ「認定こども園の建設」

竹原市の担当職員に対して設計・予算・災害対策を中心に質問させていただき説明終了後現在建設中の現場見学も行いました。

これから実施設計、建設予算の審議などを抱える本市において重要だと思われるものが「現場の意見を大切にしている」点でした。何度も何度も意見を交換し、現場で日々働く保育士さんが仕事をしやすくすることに重点を置いていました。

本市でも更に現場の意見を吸い上げ、働く人にも子どもたちにとっても良いこども園を建設できるように先進事例を参考にしながら提言していきます。

10/24 広島県呉市(人口22,366人)

研修テーマ「移住・定住の取り組み」

「シティプロモーション活動」

まず移住・定住の取り組みは、増え続ける空き家問題と移住・定住施策を合わせ、様々なかたちで複数のサポートが手厚く用意されていました。107世帯・404名の方が利用している事業もあり効果も出てきている印象を受けました。

進み続ける少子高齢化と増え続ける空き家。本市においても喫緊の課題ですが、まだ、効果的なオリジナルの施策を効果的に打ち出せてはいない現状と認識しています。これらを参考にし、潟上に合ったかたちで施策の提案をしていきます。

シティプロモーション活動は「訪れてみたい」「住んでみたい」「住み続けたい」と感じてもらうことを目的に、様々なかたちで情報発信を積極的に行っていました。本市の情報発信力はまだまだ足りないと感じており、呉市のこの実績はとても参考になったと同時に希望を持ちました。潟上の魅力を市内外に効果的に伝える方法を考え、引き続き提案していきます。

委員 瓜生 望

賛否一覽・編集後記

特集 みんなのギカイ・行政視察研修報告

令和元年 12 月定例会

各議員の賛否一覧 (全会一致を除く)

((○):賛成、(×):反対、(欠):欠席、(退):退席、(議):議長

議案等	会派名・氏名															結果				
	新星だるま会				同志会			新生クラブ		改革クラブ		会派に属さない								
	会長	副会長	幹事長		会長	会長代行	幹事長	代表	代表		泉共舞	公明党	議長							
議案第80号	佐藤 義久	大谷 貞廣	堀井 克見	澤井昭二郎	菅原 秀雄	鏡 仁志	佐藤 敏雄	鈴木 壮二	児玉 春雄	小林 悟	伊藤 正吉	中川 光博	戸田 俊樹	鈴木 次郎	藤原 典男	菅原 恵子	瓜生 望	西村 武	原案可決	
議案第81号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
議案第82号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	原案可決
議案第83号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議	原案可決
議案第87号	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
陳情第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	退	○	○	議	採 択
陳情第16号	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	議	採 択
陳情第17号	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	議	採 択

みんこのキカイ 2020.1.1 No.59 潟上市議会だより

F010-0201 秋田県潟上市天王字榑沼台226-1 TEL 018(853)5330 編集/潟上市議会広報編集特別委員会

編集委員から

皆様のご健康とご健勝、幸せをお祈りいたします。健康に気をつけて、楽しく暮らしましょう。議会だよりとの出会いも楽しみにしてください。(藤原典男記)

身近な議会広報誌を目指し取り組みました。将来を見据え、本市の課題克服に向け、市民参加意識の啓発に繋がるよう今後も真摯に向き合っています。(鈴木壮二記)

若手委員長を中心にレイアウトしてまいりましたが、いかがでしたか。これからも皆様に寄り添う議会を目指してまいります。(菅原恵子記)



2年間ありがとうございました

新年おめでとうございます。皆様にご覧いただきありがとうございます。2年間有難う御座いました。(副委員長 菅原秀雄記)

とにかく分りやすく情報を届けようと思ってきました。これからも議会、行政が身近に感じてもらえるように活動していきます。(委員長 瓜生 望記)

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様には、幸せ多き一年でありますようお祈り申し上げます。(中川光博記)

台風19号の被害に対する義援金について

台風19号による甚大な被害状況に鑑み、潟上市議会議員有志(15名)で全国市議会議長会を通して義援金を送金しました。(議員一人5千円) この義援金は、被災地域の方々の生活支援や復興事業に充てられます。

義援金7万5千円

犠牲になられた方々のご冥福と、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

市議会の傍聴へお越しく下さい

潟上市議会では定例会・臨時会を傍聴することができます。日程等の詳細につきましては、市ホームページをご覧ください。なお、インターネットでも録画で議会をご覧になれます。



第4回定例会 傍聴人数 累計 27人

【今回の表紙】介護予防ボランティア養成講座を受講された皆様。地域を支える力に私たちもパワーをいただきました。